

X線CT

X線CTは、試料にX線を照射・透過させ、試料の密度や材料によるX線吸収量の差を利用して、試料内部の3次元的な構造を、“非破壊で”得ることができる装置です

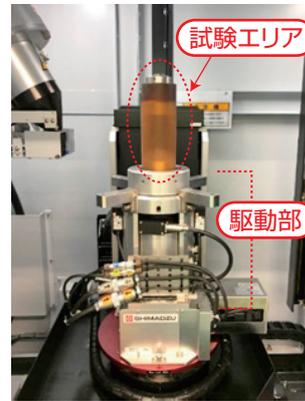
装置外観

撮影用のステージの上に試料をセットするだけで撮影可能。切断・研磨などの前処理は不要です。

小型の材料試験機を搭載しており、最大30kNの圧縮荷重を加えた状態での撮影が可能です。

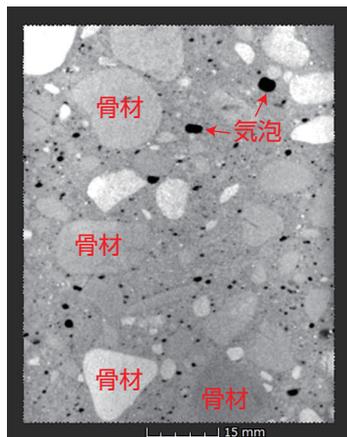


●島津製作所：inspeXio SMX-225CT



●小型材料試験機

撮影事例

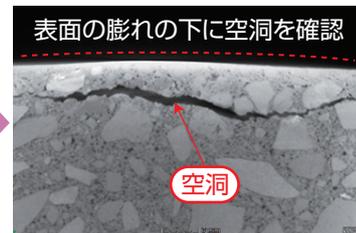


●コンクリートコアの断面

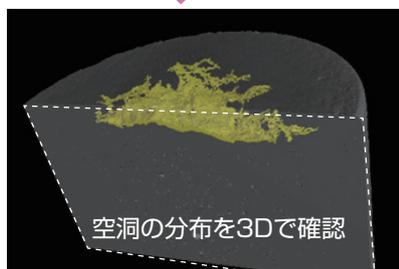
試料を切断せずに、内部状況を確認できます。



膨れたコンクリート



CTによる断面像



空洞の分布を3Dで確認

●コンクリート表面膨れの観察

膨れの直下に異物などの混入はなく、表面付近に「空洞」があることを確認。空洞は水平方向に広がっており、その分布を3次元で確認できます。

